

## 両立支援サポート内容



多職種が両立支援に携わります。  
支援を希望される方は、無料で相談ができます。

これからの治療と仕事の両立についてどう考えていいのかわからない。

仕事を続けていく自信がない。元の仕事ができるか自信がない。

仕事を辞めてしまったけど、また、仕事を始めたい。

治療のスケジュールや治療方針を働きやすいように相談したい。

勤務先に迷惑をかけるかもしれない。病気のことを正直に話すと解雇されてしまいそう。

職場の理解・協力が得られない。



## 両立支援科 就学・就労支援センターへのご案内



両立支援科・就学就労支援センターは、  
正面玄関から、入って左手にあります。

## 産業医科大病院 両立支援科・就学就労支援センター

〒807-8556  
北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号  
TEL : 093-603-1611 (内線 3205・7125)



HPはこちらです

メールアドレス  
ryouritsu@mbox.clnc.uoeh-u.ac.jp

仕事を辞めないで！まず、相談を！

治療と仕事の  
両立について  
相談できます



## 両立支援とは

国の進める『働き方改革』の柱の一つに『治療と仕事の両立支援』があります。患者さんはもちろん、職場と医療機関にとっても『治療と仕事の両立』は大きな課題です。

医療技術の向上で、いろいろな病気が治せる時代になりました。例えば「がん」は早期発見、治療が可能になり生存率も向上しています。そうなる患者さんの中には働き続けたい人がたくさんおり、そうした人たちの『治療と仕事を両立できるよう支援していこう』というのが両立支援です。

休み方や働き方、職場への申し出の工夫（本人からの伝え方、就業に関する職場からの勤務情報提供書や医療機関からの意見書※での情報のやりとり等）で、仕事を継続できることもあります。両立支援担当が両立を可能にするポイントをお伝えし、サポートします。

### 主治医意見書とは

※主治医が医学的観点から就業の継続や職場復帰、配慮が必要かについて作成され、職場での就業に関する参考資料になります。



## それぞれの立場からの両立支援の意義

### 家庭



- 治療を受けながら仕事ができる。
- 収入を得ることで安心感に繋がる。
- 仕事の継続、社会との関わりで、モチベーションの向上となる。



### 医療



- 仕事が理由の治療開始や中断が防止できる。
- 医師の意見書（病状・治療・配慮）により効果的な治療ができる

### 職場



- 病気による離職防止、人材確保ができる。
- 安全に働くことができる。
- 企業のイメージアップ、社員のモチベーションアップにつながる。

## 両立支援の流れ

### 【復職の意見書発行までの流れ】

就業に関する診断書(意見書)希望

配慮必要

配慮不要

5番文書窓口で文書交付願いの申請手続き実施

診断書作成

代表番号(TEL093-603-1611)  
両立支援コーディネーターへ連絡

勤務情報提供書を持参、  
両立支援科外来にて両立支援担当と面談

両立支援科外来で両立支援担当より『意見書発行』

### 【意見書の料金について】

#### 意見書料金表

項目	料金
配慮事項あり(院内指定様式)	¥6,600
配慮事項あり(会社指定様式&手書)	¥11,000
配慮不要(院内指定&会社指定手書)	¥2,200

※疾患によって、健康保険やその他の制度で負担金が変わることがあります。